

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

JFEミネラル株式会社 福山製造所

(2) 事業所の所在地

広島県福山市鋼管町1番地

(3) 業種

生石灰製造

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26(2014)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 理念

当社は、地球環境の向上を経営の重要課題と位置付け、社会と調和した事業活動を推進することにより、豊かな社会作りを目指します。

2. 方針

当社は、瀬戸内海国立公園内に位置するという立地条件を考慮し、自然環境・地域との融和をめざした企業活動を推進します。

- 1) 事業活動における環境影響を認識し、地域の皆様に実感いただける環境改善活動を積極的に推進します。
- 2) 環境関連の法律、条令、協定及びその他の環境上の取り決め事項を順守するとともに、省エネルギー、省資源、リサイクルを含む環境汚染の予防に努めます。
- 3) 事業プロセスにおける環境パフォーマンスの向上を図ることで環境負荷の低減を行い、地球環境保護に積極的に取り組みます。
- 4) 全従業員に環境教育を実施し、環境意識の向上に努めます。
- 5) 環境調和型製品の開発・提供により、持続可能な社会の実現に貢献します。
- 6) 環境保全体制強化のため、繰返しの訓練により継続的な技能伝承を図り、ライン自律型環境管理を推進します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成26(2014)年度	令和2(2020)年度
二酸化炭素	277,215	171,420 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症影響により、生石灰出荷量が減少。複数の石灰焼成炉を休止・減産対応をとり、通常操業時より減少。

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成26(2014)年度	令和2(2020)年度
二酸化炭素	562,971	382,013 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症影響により、生石灰出荷量が減少。複数の石灰焼成炉を休止・減産対応をとり、通常操業時より減少。

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO2					0
非エネルギー起源CO2					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
その他 温室効果ガス					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量					0
目標設定の考え方					

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生石灰生産量

単位：排出量(t-CO₂)，原単位置量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成26(2014)年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和12(2030)年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	277,215	799,400	0.35	11.4	237,600	766,500	0.31
非エネルギー起源CO2	562,971	799,400	0.70	-2.9	551,880	766,500	0.72
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	840,186	799,400	1.05	1.9	789,480	766,500	1.03
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	—	—		0.0	—	—	
目標設定の考え方	設備更新による電力効率化、及び操業効率改善等に取り組み、CO2排出量原単位削減を目指します。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	設備更新による電力効率化	65千kWh/年 削減見込み	モータをトップランナーモータに更新することで、電力使用量を削減(年間12台ペースで更新計画)。
2	設備更新による電力効率化	228千kWh/年 削減見込み	変圧器をトップランナー変圧器に更新することで、電力使用量を削減。令和12(2030)年度までに5台更新計画。
3	設備更新による電力効率化	307千kWh/年 削減見込み	炉内空気吹込部のプロア用NSモータをVVVF化することで、電力使用量を削減。令和12(2030)年度までに2台更新計画。
4	設備更新による電力効率化	415千kWh/年 削減見込み	炉内空気吹込部のプロア用PモータをVVVF化することで、電力使用量を削減。令和12(2030)年度までに4台更新計画。

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

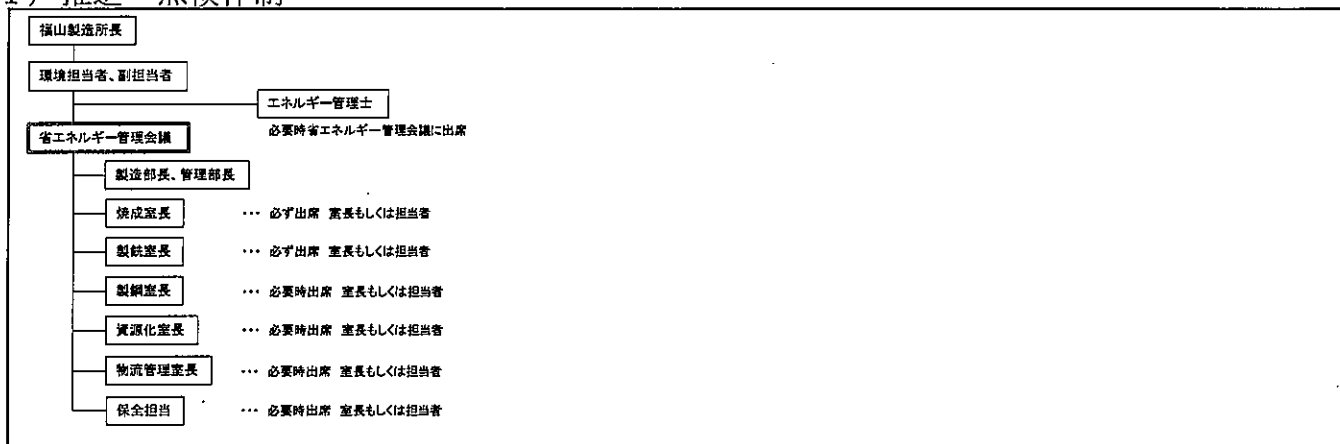
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	LED照明の導入	数値目標は設定せず	事務所、工場詰所、設備照明の切替。
2	用紙の削減	数値目標は設定せず	プロジェクター又はオンラインでの会議によるペーパーレス化。 両面コピー・裏紙の使用。
3	使用済みベルトの再資源化	数値目標は設定せず	再資源化可能な廃ベルトは焼却処分せず、分別回収して再資源化する。

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

毎月の省エネルギー管理会議において、生石灰製造における燃料ガスエネルギー原単位、石炭原単位、電力原単位の実績・推移状況の評価・見直しを実施。持続的な原単位好転に取り組めます。

(3) 計画書等の公表

事務所書棚にて備え付けて閲覧。

